

システムトレード基礎講座

勝率37%でも儲かると言える理由

勝率 37%でも儲かると言える理由

証券アナリストで、システムトレードに関するセミナー講師を担当しています、フェアトレード株式会社の西村剛（にしむらつよし）です。本講座では、ご覧頂いた皆さまが基礎から「システムトレード」を理解できるように、やさしい言葉とやさしい表現で解説していきます。ぜひ、最後までお付き合い頂ければと思います。今回のテーマは「勝率 37%でも儲かると言える理由」です。では、中身に入りましょう。

「勝率 37.1%」のブレイクアウトの講座では、シンプルなチャンネルブレイクアウト手法を例にして、初めてバックテスト（検証）を行いました。過去のデータを分析することで、その手法に有効性があるかどうかを簡単に知ることができるシステムトレードについて、少しでも魅力を感じていただければ幸いです。そこで、今回も「斉藤正章」氏が売買ルールを解説します。

斉藤正章です。今回は、「勝率 37.1%」のブレイクアウトで行ったバックテストの結果をもとに、もう少し詳細な分析を行ってみたいと思います。まず、チャンネルブレイクアウトについて簡単におさらいしてみましょう。以下がチャンネルブレイクアウト（40日間ブレイク）の売買ルールです。

[買いルール]

- ・過去 40 日間の高値（終値で一番高い価格）を更新

[売りルール]

- ・過去 20 日間の安値（終値で一番安い価格）を更新

※売買は翌日の寄付き（始値）で行う

続いて、以下がこの売買ルールに従って売買した場合の検証結果です。

[検証結果] （テスト期間：2000/1/1～2008/5/16）

勝率：37.1%

平均損益率：+0.89%

平均保有日数：49.94 日

「勝率 37.1%」のブレイクアウトの講座でご説明した通り、平均損益率が+0.89%と一応はプラスになっています。つまり、**売買を繰り返すほど儲かるルール**ということが言えます。もしかすると、**勝率が37%程度しかないのに儲かるルール**ということに違和感がある方もいるかもしれません。では、**儲かる理由**について、簡単にご説明させていただきます。

例えば、5回の売買を繰り返して以下のような結果だった場合、トータルの成績はどのようになるでしょうか。

1回目：負け	-10%
2回目：勝ち	+20%
3回目：負け	-10%
4回目：負け	-10%
5回目：勝ち	+20%

[結果]

2勝3敗（勝率：40%）

合計損益：+10%

平均損益：+2%（+10%÷5回）

このように、勝ちよりも負けが多いにもかかわらず、トータルでは儲かったことになります。これは負けたときの損失よりも勝ったときの利益が大きいからです。つまり、勝率というものは実際にはほとんど意味のないものであり、**あくまでもトータルの損益がプラスであるかどうか**が**重要**なのです。そして、チャンネルブレイクアウト手法はこのようなタイプ（**勝ったときの利益が大きいタイプ**）に属するわけです。

さて、「勝率 37.1%」のブレイクアウトの講座でバックテストを行ったチャンネルブレイクアウト手法の平均損益はプラスでした。つまり、売買を繰り返すほど儲かるルールということになりますが、それをもう少し詳しく見ていきましょう。

グラフなどがなく、申し訳ございませんが、この売買ルールで売買を開始した2000年あたりは歴史的な下落相場の真っ只中であり、2003年の春に日経平均が7000円台をつけるまで、ほぼ一方的に下げ続けた相場です。このような相場でチャンネルブレイクアウト手法を使っても、資産はどんどん減り続けていることになります。

一方で、2003年春以降に始まり、2005年の末まで続いた上昇相場では大きく儲かっているのがわかります。つまり、この手法を使用していると上昇相場では儲かり、下落相場では損をするということがいえるのではないのでしょうか。

ただし、もうひとつ注目していただきたいのは、下落相場による損失に比べ、上昇相場での利益のほうがはるかに大きいため、「長期的にみれば儲かるルール」ということはいえそうです。相場が永久に下げ続けられないかぎりには儲かる可能性が高いとはいえ、さすがにこのまま使うには少々頼りないかもしれません。

そこで「勝率が4%上昇」有効性の高い売買ルールを修正するの講座では、このチャンネルブレイクアウト手法にちょっとした工夫をして、もう少しだけ使えるルールになるようチャレンジしてみたいと思います。是非、そちらもご覧下さい。

斉藤正章

斉藤正章さんの、売買ルールの解説はいかがでしたでしょうか？以上が、勝率37%でも儲かると言える理由でした。

フェアトレード株式会社

西村 剛

<著者プロフィール>



西村 剛（にしむら つよし） 日本証券アナリスト検定会員

1997年国際投信委託株式会社（国際投信投資顧問株式会社）入社。国内株式中小型株アナリスト兼ファンドマネージャーとして株式運用に携わる。年間200社程度の企業調査を行い、株式ファンドを運用。2005年独立し投資教育事業を行うフェアトレード株式会社設立 代表取締役就任。2009年初心者でもプロのトレーダーと同じ運用が出来るソフトウェア「システムトレードの達人」をリリース。

システムトレードでの運用を行う傍ら、日本経済新聞、ヤフーファイナンス、オールアバウト、ネットマネーなどのマスメディアで執筆を行う。現在もヤフーファイナンスにて「株式戦略マル秘レポート」を連載中。また、大阪証券取引所主催セミナーや名古屋証券取引所主催セミナーで講師も勤める。すでに2000名以上が購読する無料メールセミナー講師も行う。

著書：実戦 空売りトレード（明日香出版社）、大証FX入門（明日香出版社）

本レポートについて、ご質問・ご不明な点などございましたら、下記サポートセンターまでご連絡下さいますようお願い致します。

「システムトレードの達人」サポートセンター

電 話： 03-6280-4580

E-mail： support@sys-tatsu.com

受付時間：10:00～19:00（土日祝日を除く）

システムトレード基礎講座 「勝率37%でも儲かると言える理由」

 フェアトレード株式会社

2011年2月17日発行

発行人 西村 剛（にしむら つよし）

発行所 東京都中央区八丁堀4-11-3 金谷ビル3F

Email: info@fairtrade.co.jp

TEL: 03-3555-3260